

防災ラジオドラマ 星崎学区連絡協議会 タイトル「平成の伊勢湾台風」

状況 台風上陸五日前、夕方六時のニュースを家族で見ている。

ジングル2

北アナ 続いて気象コーナーです。

西アナ 気象予報士の東さん、大型の台風が近付いていますね。

東キヤス はい。この台風、東海地方を中心に深刻な被害をもたらした、53年前の伊勢湾台

風と特徴が良く似ています。もし接近上陸した場合は、「平成の伊勢湾台風」となるかもしれません。【フロント―バック切り替え】

現在、台風15号は日本の南海上を発達しながら北西へ進んでおり、中心の気圧は910ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は毎秒60メートルと、大型で猛烈な台風となっています。このため、小笠原諸島近海は大しけとみられます。

西アナ この後、日本への影響はどうでしょうか？

東キヤス はい。この台風はまだ2〜3日動きが遅いものの、その後は北寄りへ進路を変えながら北上し、予報円の中心を通った場合、5日後の26日には東海から近畿南部へかなり接近、または上陸する可能性があります。

西アナ 今後、注意しなければいけない点はどのようなことでしょうか？

東キヤス まず海水温の高い海域を進むため、勢力をあまり落とさず接近してきます。加えてこの時期は大潮の期間にあたります。したがって、雨や風に対する警戒に加え、沿岸部は高潮による浸水に備えなければなりません。

北アナ 早めの備えが必要となりますね。それでは、各地の予報をお伝えします。

【フロント】

祖父（早川）

えー、伊勢湾台風？こりゃひどいことになりそうぞ。

こども

台風？学校休みになるかなあ。

祖母（久野）

そんなこと言っている場合じゃないよ。伊勢湾台風ではたくさんの方が亡くなったんだから。

こども

伊勢湾台風って何？

祖父（早川）

今でもよう忘れんわー。昭和三十四年九月二十六日、夕方からどえりゃー強い雨が降ってきて・・・そうこうしとったら、今度は家人中へ水が入ってきたもんだで、あわてて二階へ逃げたわさ。柴田の方では、水が屋根より上まで来て、たくさんの方が溺れて死んだんだよ。あつという間に水が来たでなー。

こども

ふーん、そっか。そういうえば、こないだ敬老の日のお手紙を届けたおばあちゃんの家、二階がなかったけど、だいじょうぶかなー。ねーお母さん。

母（濱田）

そうだね、おじいちゃん消防団長だけど、どうするの。

祖父（早川）

そうだなあ。学区の委員長さんは、災害対策本部長だで、電話して聞いてみるわ。

(ピポ。パポ。)

委員長（荒川）

(受話器の向こうから) もしもし荒川です。

祖父（早川）

委員長さんですか。消防団長の早川です。ニュースで伊勢湾台風なみの台風が近づいとると言つとるけど、学区として対策はどうしますかねえ？

委員長（荒川）

わしも見とつたよ。明日、災害対策会議をやりましょうか。

委員の皆さんに公民館に集まるよう大至急手配するので、消防団も至急連絡してください。

祖父（早川）

わかりました。早速手配します。

ナレーター 台風上陸二日前・第一回緊急対策会議

委員長（荒川） こんにちは。今度の台風は伊勢湾台風並みで、大きな被害が出るかもしれません。こないだ作った防災マップがあるけど、住民の皆さんはどこへ避難するのか知ってるかなー。

町内会長A（宗宏） 台風のとき、どうしたらいいのかよう分からのだわ。

委員長（荒川） 町内会長さんは災害対策委員も兼ねとるんで、しっかり確認しといてくださいよ。

民生委員（石濱） 私は民生委員として高齢者を見守りしていますが、家の二階にいれば安心なので避難しない、という人もいます。

子ども会（勝見） 私は最近引越してきたばかりなんで、どう逃げたらいいのか……。

委員長（荒川） そうか。消防団長さん、インターネットはつながってますよね。防災マップ見せてくれますか。

消防団長（早川） はい。えーそれでは、プロジェクターでマップを見ながら対策を考えましょう。

これが避難経路です。要援護者として、ひとり暮らしの高齢者の方も、これだけ登録されています。

体育委員（飯尾） これだけですか？もつと他にもいるんじゃないですかねー

PTA（濱田） そういえば、お向かいの娘さんは足が悪くて一人では歩けないですけど、このマップには載ってないですね。

町内会長B（石濱） うちの町内でも特別支援学校へ通っている息子さんがいて、いつもお母さんが大変そうだけど、大丈夫かなー。

PTA（濱田） 障害のある人や、日本語が分からない外国人も手助けが必要ですよ。

委員長（荒川） おっしゃるとおりです。近所にそういう人がいるかどうか、調べてください。

ジングル2

ナレーター 台風上陸二日前の朝

こども おじいちゃん、やっぱり台風は来るの？

祖父（早川） このままだと、来そうだなあ。そういやー、おみゃーが心配してたおばあちゃんは、近所の人たちが助けるで安心しとってええよ。

こども よかったあ。ところで、さっちゃんのお母さん、入院してるんだって。

祖母（久野） さっちゃんって一人っ子だよね。お父さんは何をしてるの。

こども 長距離トラックの運転手さんだって。

祖父（早川） 台風がひどなると帰ってこれんかもしれんなー。そんな時はさっちゃんも、うちへ来るように言っておいたらどうだい。

こども うん。

祖父（早川） それじゃーわし、今から診療所へ行って薬もらってくるで、留守番頼むわ。

祖母（久野） 診療所へはこないで行ったばかりなのに。また行くのかねー。

祖父（早川） 伊勢湾台風みたいになると、薬や食べもんがのうなってしまうで、今のうちに行つとくんだがや。

ナレーター 台風上陸二日前の夜・第二回緊急対策会議

委員長（荒川） それぞれの町内で手助けが必要な人、調べてきてくれましたか。

町内会長C（久野） はい。うちの町内では寝たきりの方がいました。また、洪水になると危険な平屋が三軒あることがわかったんです。

町内会長D（飯尾） うちの町内では臨月を迎えた妊婦さんや、家から出られない30歳くらいの息子さんがいるらしいですよ。

町内会長B（石濱） 昨日お話しした特別支援学校のお子さんのことですけど、大勢の中だとパニックになることもあるから、避難所へは行けない、とお母さんが言っていました。

委員長（荒川） うーん、色々問題が出てきたなー。あさってには平成の伊勢湾台風が来るというのに、いい方策はないものかなー。

消防団長（早川） 一つの組はおよそ十軒程度でしょ。各組長さんに、一軒ずつ回って聞いてもらったらどうですか。

委員長（荒川） そうだね。組長さんは各家庭のことを知り得る立場にあるので、台風のお知らせと情報収集をお願いします。町内会長さん方、いいですね。

町内会長E（勝見） あのー、町内会費を払ってないところへも行くんですか？。

町内会長A（宗宏） 町内会費払ったら人まで面倒見きれんぞ。

町内会長F（石濱） そりゃそうだなあ。

（ざわつく）

消防団長（早川） そうは言っても、ことがことだで、同じ町内に住む人たちをほっておけんがね。

ねえ、委員長さん。

委員長（荒川） そうだねえ。この星崎から一人の犠牲者も出すわけにはいかんからねえ。

ジングル3

ナレーター 皆で情報を集めてみたが、これといった解決法が見つからないまま、幸いにも台風の直撃は免れた。

ジングル2

ナレーター 台風通過から数日後の学区定例会議

委員長(荒川)

大きな台風だったけど、それと比べてよかったですね。今回の台風では、いろいろ気づかされることがありましたよね。

町内会長D(飯尾)

そうですね。いざと言う時、支援が必要な人って結構いるもんですね。

PTA(濱田)

避難所に行けない人もいるので、そういう方たちをどうすればいいのか考えないと
いけませんね。

町内会長B(石濱)

隣近所のこととは、組や町内単位で把握できるといいですね。

消防団長(早川)

大きな災害に備えて、「自分たちのまちは、自分たちで守る」。
これができるよう皆で力を合わせませんか。

委員長(荒川)

よし、これを機に「星崎学区の防災安心まちづくり委員会」をさらに充実させまし
よう。

(拍手)

第九交響曲